履歴書

2024 ф 6 月 15 日 現在

ふりがな	つるだ けんたろうまいける	性別 男
氏名	鶴田 健太郎マイケル	電話 070-2319-5293
生年月日	2003年4月16日生 (満21歳)	070-2319-5293(日本)
ふりがな	とうきょうとおおたくかまたほんちょう	電話
現住所	〒144-0053 東京都大田区蒲田本町 1-1-2-402	323-321-4282(米国)
Email	michaeltsuruda@brandeis.edu	
連絡先	〒 02453 415 South Street, Waltham, MA, United States	

年	月	学を歴・職を歴	
		学歴	
2019	3	公立 大森第六中学校 卒業	
2019	4	私立 武蔵野大学附属千代田高等学院 入学	
2022	3	私立 武蔵野大学附属千代田高等学院 卒業	
2022	4	中央大学国際経営学部国際経営学科 入学	
2022	9	中央大学国際経営学部国際経営学科 中途退学 (ブランダイス大学進学のため)	
2023	1	ブランダイス大学商学部、コンピューターサイエンス学部 入学	
2026	5	ブランダイス大学商学部、コンピューターサイエンス学部 卒業予定	
		職歴	
2022	3	株式会社日本マクドナルド 入社 (アルバイト)	
2022	7	株式会社日本マクドナルド 退社 (当初ブランダイス大学の進学予定が夏だったため)	
2022	8	株式会社リライアブル 入社 (派遣)	
2022	10	株式会社リライアブル 退社 (契約満了のため)	
2023	10	ブランダイス大学 日本語言語プログラム 勤務 (アルバイト)	

年	月	免許・資格
2021	5	中国政府公認中国語試験 中国漢語水平考試 (HSK) 3 級
2021	12	TOEFL iBT 99点
2022	3	国際バカロレア 取得
2023	6	VERSANT 64 点
2023	10	Excel Essential Training (Microsoft 365) (2018) Excel: PivotTables for Beginners Excel: VLOOKUP and XLOOKUP for Beginners Excel Quick Tips (2020) 取得
2024	1	Bloomberg Market Concept Excel 2016 Essential Training 取得

課外活動

TAMID at Brandeis (2024年1月 - 現在) ファンドアナリスト、PE プロジェクトファイナリスト

- ストックピッチにおいて割引キャッシュフローモデル (DCF) とレバレッジドバイアウトモデル (LBO) を活用して投資対象を評価。メンバーに向けてプレゼンした。
- TAMID プライベートエクイティ(PE)大会で 4 位を収める。SMLR(医療機器メーカー)の買収と戦略的な 販売、流通の改善による企業価値向上後の売却案を LBO モデルを用いて評価した。

Brandeis Investment Club (2023年9月 - 現在) アナリスト

- 15 名以上のメンバーに対し、レシオ分析、10K や 10Q 等の USGAAP 基準の財務諸表、業界動向、金融市場の基本的分析を用いて投資方法を決定、発表するストックピッチを牽引した。
- Microsoft Excel と Bloomberg Terminal を活用し、割引キャッシュフロー(DCF)モデルや割引配当モデル (DDM) などの評価モデルを構築。キャッシュフローを評価し、理論株価を算出。
- クラブの 35,000 米ドル相当の投資ポートフォリオ運用をアドバイスした。チームの案を取り入れるよう E-board メンバーに説得し、最適なエントリーやエグジットポイントを提案した。

日本学生協会 (2023年3月 - 現在) イベントコーディネーター

- 450 名以上が参加した 8 つの文化や教育イベントの企画、運営を指揮。本格的な日本食や伝統的なパフォーマンスを伴う日本文化をキャンパス内で祝うイベントを実施。
- 年間 13,000 ドルの予算配分を管理。20 名以上の E-board メンバーと協力してイベントを主催し、アートチーム、会計係、代表間のコミュニケーションを促進してイベントを調整した。

自己PR

私の最大の強みは、強い好奇心に基づいて自ら積極的に新しいことに挑戦し、実践を通して着実に知識とスキルを積み上げていく姿勢である。私はこの強みを生かして個人的に投資を始め、大学ではビジネスを専攻し、課外活動においても投資サークルや TAMID でアナリストとして活動した。その結果、TAMID の PE 大会で4位という華々しい功績を残すことができた。

好奇心から 2017 年に米ドルを外貨預金口座で取引したことから金融に対して興味を持ち、現在では投資対象を広げて日本株、他外国通貨、さらに仮想通貨を含めたポートフォリオの運用をしている。現在では決算資料やチャートとレシオの分析、そして NISA 口座の活用による戦略的なポートフォリオ管理により 60%超の含み益と年 6%の配当を生み出し、21%以上の CAGR、シャープレシオは 2.49 と市場の平均リターンを大幅に超える成果を出すことに成功している。

この個人的な投資の経験から私はより深くファイナンスについて学びたいと思い、ブランダイス大学ではビジネスを専攻し、さらに投資クラブとビジネスサークルの TAMID に入会した。投資クラブではアナリストとしてストックピッチを毎週行い、投資対象の選定や財務諸表の分析、さらに DCF や DDM といった企業評価モデルを Excel やブルームバーグターミナルを他メンバーとともに役割分担をして作成した。チーム一丸となってプレゼンを作成したあと全メンバーの前で発表し、発表した株の一部はクラブの部長が管理する 35,000 ドルのポートフォリオに組み込まれた。

TAMID では 2024 年度の春学期末に行われた PE グループプロジェクトにて SMLR (医療機器メーカー)を買収、非公開化したのち販売、流通の問題を解決して企業価値を上げたうえで売却するという投資計画を LBO を用いて発表し、この功績が認められてファイナリストに選定され、最終的に TAMID の PE プロジェクト大会で総合4 位という結果を納めた。

私は強い好奇心から積極的に新しいことに挑戦し続け、実践を積み重ねることで確実にファイナンスの知識とスキルを身につけてきた。私は今までの経験から、積極的にチャレンジをしてこそ成長できると考えており、挑戦の結果自分を最大限成長させ、結果が出るということにも繋がることを学んだ。

趣味:筋トレ、水泳、ウィンタースポーツ (スキー、スケート)、飛行機操縦、料理クラブ: Japanese Student Association, TAMID, Brandeis Investment Club